

# 2024 年度

社会福祉法人

## 安曇野市社会福祉協議会

# 事業計画書

■ 実施期間 : 2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日



社会福祉法人 安曇野市社会福祉協議会

# 目次

## 社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会 2024 年度事業計画書

<b>I 経営理念・基本方針・ビジョン</b> -----	3
<b>II 地域福祉課・・・経営環境・2024 重点テーマ</b> -----	4
1、地域福祉推進の基盤づくり ～人づくり～	
2、共に支え合い、見守り合う社会づくり	
3、健やかに暮らせる地域づくり	
4、安全で安心して暮らせる環境づくり	
5、子どもを育むまちづくり	
6、包括的支援体制づくり	
7、地域福祉課重点テーマに向けた各支所における重点 3 事業	
8、各児童館の年間目標及び主要事業	
<b>III 介護事業課・・・経営環境・2024 重点テーマ</b> -----	19
1、居宅介護支援事業	2、通所介護事業
3、訪問介護事業	4、訪問看護事業
<b>IV 障がい福祉課・・・経営環境・2024 重点テーマ</b> -----	22
1、相談支援事業	2、障害者就労継続支援 B 型事業
3、地域活動支援センター事業	
4、生活介護事業／放課後等デイサービス事業	
<b>V 総務課・・・経営環境・2024 重点テーマ</b> -----	26
1、持続可能な福祉の拠点づくり	
2、情報発信の強化	3、危機管理体制の強化

# I 経営理念・基本方針・ビジョン

## 経営理念

**支えあい 誰もが安心して暮らせる福祉のまち 安曇野**

## 基本方針

- 1 私たちは、住民の声に耳を傾け、時代とニーズに即した効果的な事業を展開します。
- 2 私たちは、常に住民の立場に立ち、その人権を尊重します。
- 3 私たちは、多くの諸機関・諸団体と連携・協働し、広域的なネットワークを構築します。
- 4 私たちは、専門職としての自覚と責任を持ち、常に資質の向上に努めます。
- 5 私たちは、開かれた組織づくりと健全な経営に努め、組織の基盤強化を図ります。

## ビジョン

地域福祉課	社会情勢の変化と共に多様化する地域住民の生活環境や生活課題に柔軟に対応した地域づくりを推進します。
介護事業課	生きにくさ、暮らしにくさを抱えた高齢者・障がい者が“生まれてきてよかった”と思える人生づくりに貢献します。
障がい福祉課	どんな障がいがあっても、個人としての尊厳にふさわしい生活を営むことができるような支援の環境をつくります。
総務課	全ての職員が理念の実現に向けて健康的に、安心して、やりがいを感じながら、互いに高め合い、気持ちよく働ける職場をつくります。

### ◆スローガン

**思いやりの心を大切に、ずくだせ・知恵だせ・元気だせ**

# II 地域福祉課

## 1. 経営環境

少子高齢化の進行に加え3年間に及んだ新型コロナウイルスの感染拡大により、地域における住民同士の交流の機会、支え合いの活動は大きく停滞するばかりか、社会的孤立や生活困窮、ヤングケアラーなど新たな対応を要する諸課題も表面化しました。また、人手不足、担い手不足により地域コミュニティや福祉関係団体においては今後の体制維持・活動継続が困難な状況に陥っている面を呈しています。これら社会情勢の中、住民一人ひとりが自分の役割を持って参加する地域づくりを主眼とした「第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画」が策定され、令和6年度から施行されます。

## 2. 2024 重点テーマ

地域福祉課：互いに支え合う地域づくりに向けて

～第4期地域福祉計画／地域福祉活動計画の始動～

地域福祉係・子育て支援係

### (1) 地域住民の福祉への意識を高める「活動の場づくり」

老若男女を問わず様々な人が自分にあった福祉活動に関わるきっかけとなるよう、参加・活動の機会を創り出します。

### (2) 社会情勢を的確に捉えた、新たな「しくみづくり」

各々の事業の現状或いは事業利用者の声や姿から、今向き合うべき課題を把握し、地域における新たなしくみづくりに繋がります。

目的と概要	<p>少子高齢、人口減少など社会情勢の大きな変化に伴い、地域課題も多様化、複雑化してきており、そのためお互いを認め合い、支え合う地域福祉の一層の推進を図ります。このことから、市民一人ひとりが主体となり地域の支え合い活動に参画することが求められ、そのため地域福祉についての学びの場の提供を拡充します。また、多様性を尊重し、偏見のない社会づくりのための理解の促進を図り、地域共生社会の実現を目指します。さらに、学びを通じた活動への第一歩の機会としての講座の開設、課題解決やサロンなどの担い手育成の支援、ボランティアの推進を図ります。</p>
-------	--

<b>R6 年度</b>	地域福祉出前講座
<b>目標と手段</b>	出前講座実施要綱に基づき、市民の学びの場として積極的に出前講座の利用を促進し、要請により広く市民への説明を行います。
<b>指標と数値</b>	講座受入数 20回(年間)
<b>R6 年度</b>	多様性に関する学習会
<b>目標と手段</b>	共生社会の具現化を目指し、誰もが多様性を尊重することの理解を高めるための学習会を開催します。
<b>指標と数値</b>	学習会 1回(年間)
<b>R6 年度</b>	サロン運営リーダー養成講座(居場所づくり支援事業)
<b>目標と手段</b>	新たにサロン等の活動をはじめめる方向けと既に活動されている方向けにスキルアップ講座を開催し、サロン活動の充実を図ります。
<b>指標と数値</b>	サロン運営リーダー養成講座:新規立上げ者向け 3回/既活動者向け 3回
<b>R6 年度</b>	ボランティアセンター管理運営事業
<b>目標と手段</b>	ボランティア情報の発信等の充実により、マッチング及び団体運営支援の強化を図るとともに、多くの方が参加できる講座や体験の機会を増やします。
<b>指標と数値</b>	各種ボランティア講座の開催10講座/センターだより発行年4回
<b>R6 年度</b>	福祉学習推進事業
<b>目標と手段</b>	学校での福祉学習の機会を増やすとともに、関係機関との連携によりコミュニティスクール事業の推進を図ります。
<b>指標と数値</b>	学校での福祉学習の実施 21校/コミュニティスクール事業モデル校 1校

事業名

2. 共に支え合い、見守り合う社会づくり

<p>目的と概要</p>	<p>多様化する地域課題解決には一人ひとりが主体的に参画することが求められることから、区や地区社協など地縁組織などによる横断的仕組みづくりへの支援を行います。また、希薄化する地域コミュニティの中で、改めて顔の見える関係づくりのための声かけやサロンなど交流の機会を推進します。</p> <p>一人暮らしや孤立しがちな高齢者への見守りのための各種事業を展開するとともに、地域におけるボランティア組織の立ち上げ支援、さらには福祉員の周知とその役割が実行できるよう啓発を拡充し、お互いに支え合い、見守り合う社会づくりを支援します。</p>
<p>R6 年度</p>	<p>支部・地区社協活動の支援／社協福祉員の普及</p>
<p>目標と手段</p>	<p>第4期地域福祉活動計画に基づき、各実施主体への周知と事業推進の支援を行います。福祉員が必要な背景を十分理解いただくよう努めます。</p>
<p>指標と数値</p>	<p>支部運営会議における課題解決(11 課題中、4 課題) 活動計画、地域福祉、福祉員などの地区説明会への参加(50 地区)</p>
<p>R6 年度</p>	<p>生活支援体制整備事業</p>
<p>目標と手段</p>	<p>アンケート調査などを機会として区・常会などの小地域において、一人ひとりが主体となって支え合いや課題解決に取り組む仕組みを構築します。</p>
<p>指標と数値</p>	<p>区・常会などの小地域を対象に課題の把握や課題解決に向けた取り組み支援 目標:5 地区</p>
<p>R6 年度</p>	<p>しあわせ・あづみん</p>
<p>目標と手段</p>	<p>広く周知に努め、新たな支援会員の増員と情報交換会を行うとともに、地域版しあわせ・あづみんの推進との位置づけを明確にしていきます。</p>
<p>指標と数値</p>	<p>支援会員説明会1回、情報交換会 1 回 地域版しあわせ・あづみんの仕組みの構築(5 地区)</p>
<p>R6 年度</p>	<p>社会福祉大会</p>
<p>目標と手段</p>	<p>より多くの方に関心を持って来場いただくことを目指し、外部講師による記念講演など開催内容を充実させるとともに広報周知活動を強化します。</p>
<p>指標と数値</p>	<p>一般来場者数:400 人以上</p>
<p>R6 年度</p>	<p>安心コール事業</p>
<p>目標と手段</p>	<p>安心コール事業を安定的・継続的に実施していくため、需要と供給のバランスを鑑みながらボランティアの養成と利用者の増へ努めます。</p>
<p>指標と数値</p>	<p>安心コールボランティア養成講座:年 1 回/区長会・民生委員会・ケアマネブ ロック会等での安心コールの周知:随時/周知用チラシの回覧:年 1 回</p>

事業名

3. 健やかに暮らせる地域づくり

目的と概要	高齢者、障がい者、児童、生活困窮者など福祉サービスが必要な方へ、そのサービスや事業所の情報を的確に伝えるとともに、各種相談体制を整備・拡充します。また、健康長寿の延伸により、いつまでも健康で心豊かに過ごすことができるよう、介護予防活動支援、地域における健康づくりや生きがいづくりのための事業を展開するとともに、地域における教室、スポーツ大会、サークル活動、文化祭など各種事業を支援します。
-------	--

<b>R6 年度</b>	心配ごと相談事業
目標と手段	年間の相談日の約半分を予約制にすることで、相談受付対応の確実性と効率性の向上を図ります。
指標と数値	新規相談受付件数 50 件、無料法律相談依頼件数 10 件。
<b>R6 年度</b>	ふれあいバスの旅
目標と手段	外出機会の少ない障がい児・者や高齢者、またその家族を対象にバス旅行を含め外出の機会の創出を図ります。
指標と数値	障がい者・高齢者などを対象に外出ニーズに関するアンケートの実施 バス旅行の実施(9月～10月頃) 参加者:270名 ボランティア:30名
<b>R6 年度</b>	朗人大学
目標と手段	過去5年間の振り返りアンケートを踏まえ、年間テーマに SDGsを据えて、学びや仲間づくりの場の充実及び卒業後の活動へとつなぎます。
指標と数値	年度アンケートにおける、人財バンク登録者 学生数の 25%
<b>R6 年度</b>	地域交通ネットワーク事業(デマンド交通あづみん運行管理事業)
目標と手段	配慮が必要な利用者への個別対応、予約システムにおける課題の検討等、関係諸機関と連携して利便性の向上に努め、利用者数の増加を目指します。
指標と数値	年間利用者数:86,800人(過去3年間の利用者数推移を維持)

事業名

4. 安全で安心して暮らせる環境づくり

目的と概要	<p>近年、地震や水害による大規模災害が頻繁に起きていることから、地域防災の意識の醸成と自主防災組織の防災・減災に対する対応力の強化が急務となっています。このことから、有事の際に一人の犠牲者も出さないための災害時住民支え合いマップの作成・更新及びその活用の徹底を図るため、マップ研修会や防災講演会などを開催します。また、災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する講習会や講座などを開催し、広く市民の大規模災害を想定したセンターと地域の関わりについての理解促進と、その協力体制を強化します。また、高齢者や障がい者、子どもをはじめとした市民を事故や事件から守るための広報、講習会などを行います。</p>
-------	---

<b>R6 年度</b>	災害ボランティアサポーター養成講座
目標と手段	災害ボランティアサポーターの位置づけを明確にし、市内全地区におけるサポーター登録を目指します。
指標と数値	災害ボランティアサポーター養成講座1回(2日程)／スキルアップ講座1回
<b>R6 年度</b>	災害ボランティアセンター設置運営訓練
目標と手段	災害時に災害ボランティアセンターの設置運営を円滑に行うため、職員及び災害ボランティアサポーターを対象として訓練を実施します。
指標と数値	災害ボランティアセンター設置運営訓練 1回実施／マニュアル見直し



事業名

5. 子どもを育むまちづくり

目的と概要	子どもを安心して産み育てるためには、地域における子育てに関する専門的な相談窓口、共に子育てを支え合えるしくみ、子どもや親が集い交流できる場が必要です。市の指定管理事業である9つの児童館、受託事業のファミリー・サポート・センター事業を通じて、子どもを育むまちづくりを推進します。
-------	--

<b>R6 年度</b>	児童館管理運営事業
<b>目標と手段</b>	「8.各児童館の年間目標及び主要事業」参照
<b>指標と数値</b>	「各児童館の年間目標及び主要事業」参照

児童館の延べ利用者数の推移

児童館来館者延べ人数(人)				放課後児童クラブ延べ人数(人)			
児童館名	R4	R5 見込	R6 目標	児童クラブ名	R4	R5 見込	R6 予定
豊科中央	12,515	13,660	12,900	豊科南小	18,212	23,360	22,240
高家	9,502	11,200	12,000	豊科東小	7,036	6,050	5,634
南穂高	5,246	5,250	5,300	豊科北小	14,781	19,190	21,175
穂高中央	7,992	7,830	7,900	穂高南小	9,873	13,390	20,007
穂高西部	7,008	8,930	9,000	穂高西小	12,231	16,720	19,519
穂高北部	6,187	6,570	6,700	穂高北小	16,598	19,350	20,383
三郷	7,025	7,100	7,200	三郷小	29,318	33,940	33,236
堀金	10,434	10,530	10,600	堀金小	13,002	16,790	17,681
明科	4,083	7,110	7,200	明科	5,789	6,470	9,030
合計	69,992	78,180	78,800	合計	126,840	155,260	168,905

※令和6年4月より、豊科北小学校、穂高南小学校、穂高西小学校、明南小学校、明北小学校の各児童クラブでは、小学6年生までの受入れが開始されます。

<b>R6 年度</b>	安曇野市ファミリー・サポート・センター事業
<b>目標と手段</b>	協力会員となる協力会員養成講習の受講者数を増加させる為、講習会の内容と時間割を精査し、受講を勧める声かけを中心に周知活動を行います。
<b>指標と数値</b>	協力会員養成講習会受講者25人(令和5年度23人)

ファミリー・サポート・センター事業における会員数及び支援件数

項目		R2	R3	R4	R5 見込	R6 目標
会員数	依頼会員	904	986	1,050	1,100	1,165
	協力会員	114	113	128	137	152
	依頼協力会員	31	32	26	29	30
	合計	1,049	1,131	1,204	1,266	1,347
支援件数	通常・当日サポート	1,021	983	1,195	1,455	1,480
	病児・病後児サポート	16	28	11	15	12
	合計	1,037	1,011	1,206	1,470	1,492

## 事業名

## 6. 包括的支援体制づくり

目的と概要	高齢者、障がい者、児童、生活困窮者などの相談が必要な方への相談体制を強化し、適切な支援ができるよう努めます。また、横断的な分野に亘る相談に対する他の機関との連携を拡充します。
-------	---

<b>R6 年度</b>	地域包括支援センター運営事業
目標と手段	地域のサロン活動への参加や個別ケア会議等を通して地域の共通課題を把握し、地域づくりや資源開発につなげます。また、認知症を抱える人とその家族を支援する体制整備を進めます。
指標と数値	自立支援型地域ケア個別会議:北部2回・南部2回 認知症カフェ:6回(南部) 認知症サポーター養成講座:1回(北部)

<b>R6 年度</b>	日常生活自立支援事業
目標と手段	サービスを必要としている方へ、迅速にサービスが開始されるように、初期対応を充実していきます。
指標と数値	2ヶ月以上の新規契約の待機者を0にする。

<b>R6 年度</b>	生活困窮者自立相談支援事業(まいさば安曇野)
目標と手段	世帯全体の家計把握・見直し及び世帯全員で向き合う必要性を伝えるため、家計再生プランを作成し視覚情報からアプローチする。
指標と数値	自立支援プラン30件作成の内、半数で家計再生プラン共同作成。

生活福祉資金貸付事業の貸付及びその内訳					
項目	R1	R2	R3	R4	R6(2月末)
通常貸付件数(貸付中)	188	189	158	175	183
内 新規貸付件数	24	19	14	28	31
総合支援資金	1	5	2	6	8
緊急小口資金	12	4	6	10	12
教育支援資金	7	7	3	8	5
その他の資金	4	3	3	4	6
特例貸付件数(新規貸付)	2	1102	774	145	
内 総合支援資金	0	759	525	70	
内 緊急小口資金	2	343	249	75	

## 7、地域福祉課重点テーマに向けた各支所における重点3事業 【豊科支所】

### 重点事業1. 支部・地区社協事業推進支援事業

目 標	支部・地区社協との連携を深め、第4期地域福祉活動計画の実行に向けて住民一人ひとりが主体的に地域福祉を推進し各地区における住民主体の支え合いの地域づくりを支援します。 【指標】 福祉員の説明会・学習会 【目標数値】23 地区
具体的な手法	支部地区社協活動で住民が主体的に支え合い、助け合いの仕組みができるように各地区に出向き福祉学習会(福祉員)を行い、各地区の課題解決に向けた住民自らのできることや、福祉への意識を高める場として活動の普及に努めます。
重点テーマへの効果	人とのつながり、社会参加を通じて地域でお互いに支え合う意識の醸成に繋がります。

### 重点事業2. ボランティアセンター管理運営事業

目 標	ボランティア活動や福祉教育が継続できるように「場づくり」「意識づくり」を支援します。 【指標】 ボランティア団体の継続/福祉教育 【目標数値】 8 回
具体的な手法	ボランティアが地域の中での懸け橋になるよう人材等の社会資源の情報を伝えられるよう取り組みます。また学校と積極的にコミュニケーションをとり福祉教育及び地域の活性化に取り組みます。
重点テーマへの効果	情報を求める人が必要な情報を得るとともに、安心して活動をしていただける相談窓口になり、新たな立ち上げや継続的な運営に繋がります。学校と地域が繋がり、福祉に関心、理解を持つことで地域福祉活動に触れる機会となります。

### 重点事業3. 豊科老人福祉センター管理運営事業

目 標	センターが高齢者の拠り所となるようにセンターを有効活用していくための周知、人とのつながりを深めていく中で自分自身のための健康づくり、生きがいづくり等を通じた活躍の場が充実するように支援します。 【指標】講座 /環境整備 【目標数値】4回
具体的な手法	それぞれの事業の目的や課題を改めて確認しながら、その課題の解決策のひとつとして新たな形式に変更していく方向で取り組みます。センターの貸館及びお風呂の利用しやすい施設整備を心掛けます。
重点テーマへの効果	老人福祉センターが住民が集える場所の一つとして、子どもから高齢者までのあらゆる世代の住民が老人福祉センターに集い、地域の支え合い活動の発信の場となり、住民が主体的に地域に関わり参加することで地域が元気になります。



「豊科ささえあい広場」での手話ソングの発表



陶芸会館での陶芸教室

## 【穂高支所】

### 重点事業1. ふれあいのまち事業

目 標	小地域における住民主体の「支え合いのしくみづくり」を推進します。
具体的な手法	地域に出向き、「福祉員」や「災害時住民支え合いマップ」等の説明会を開催し、支え合いの大切さについて地域住民の理解を深める機会を創出します。また、支部地区社協を中心に、研修会の開催やマニュアル等の冊子の配布などをし、地区内での継続的な活動につながるよう支援します。 【指標】「住民主体の支え合い」に係る学習会・説明会等の実施。支え合いマップ更新支援 【目標数値】10 地区
重点テーマへの効果	説明会・学習会・支え合いマップの更新を行い地域住民が福祉活動について考える機会をつくることによって、より多くの人が福祉への意識が高まることが期待できます。

### 重点事業2. ボランティアセンター管理運営事業

目 標	地域におけるボランティア活動及び福祉活動への理解を推進します。
具体的な手法	センターや地域の掲示板の活用及び、新たにボランティア便りを発行(回覧板を利用)し、ボランティア情報を発信します。また、住民や活動者が求めている講座や交流会等を開催し、新たな活動者支援や活動の活性化を図ります。 【指標】 ①ボランティア便りの発行 ②講座・交流会等の開催 【目標数値】 ①3回 ②2回
重点テーマへの効果	住民が自分の出来ること、得意なことを通して活動に参加し、仲間づくり、健康づくり生きがいづくりにつながることを期待できます。また、福祉活動に興味を持つ人が増え、地域課題の解決に向けた住民同士の支え合いの形が創出できます。

### 重点事業3. 穂高福祉センター管理運営事業

目 標	大規模改修中もセンターの残存機能を活かし、地域福祉の活動拠点としての機能を維持します。
具体的な手法	改修工事が行われていない部屋については可能な範囲で貸館を継続します。入浴利用者・貸館登録団体を対象としたセンター利用者交流会を開催し、新たなつながりを創出します。【指標】センター利用者交流会の開催 【目標数値】1回
重点テーマへの効果	これまで入浴利用者と貸館利用者の交流はあまりありませんでした。新しい「顔の見える関係」ができ、仲間づくり・生きがいづくりにつながることを期待できます。



児童館クリスマス会にデイサービスご利用者(サンタ役)も参加



いきいき元気塾の様子

## 【三郷支所】

### 重点事業1. 地域福祉推進事業

目 標	ふれあいマーケットの企画運営を通して住民主体で活動することの良さを認識していただきます。 【指標】①参加団体 ②来場者 【目標数値】①34 団体 ②800 人
具体的な手法	実行委員会を中心に、地区社協、ボランティア団体、NPO 法人等各団体と連携をとり、チャリティーバザーや自主製品の販売等を通して、住民同士の交流の場をつくるとともに、生きがいづくりや連携強化の場をつくります。
重点テーマへの効果	住民主体のチャリティーバザーを行うことにより一人ひとりの福祉に対する意識の醸成につながることで、地域交流の場づくりや参加団体の連携強化につながることを期待できます。

### 重点事業2. ボランティアセンター管理運営事業

目 標	地域のボランティア活動の拠点となることができるようセンターの機能を充実させます。 【指標】ボランティアマッチング件数 【目標数値】15 件
具体的な手法	1 ボランティア活動の情報収集発信ができるよう PR コーナーを充実させます。 2 気軽に集い話ができるボランティアの居場所となれるスペースをつくります。 3 サロンやボランティアの場に出向きニーズ把握や活動の支援・調整を行います。
重点テーマへの効果	住民が自分の出来ること得意なことを通して活動に参加したり既存の団体の活動を再活性化したりすることでお互いに支え合う地域づくりに貢献することができます。

### 重点事業3. 高齢者安心訪問事業

目 標	粗品を持参しての訪問をきっかけに福祉員の支え合い活動への意識を高めます。 【指標】返信はがき数 【目標数値】150 通
具体的な手法	三郷地域にお住いの70歳以上の一人暮らしの方を対象とし、福祉員が粗品を渡しながら訪問します。粗品には三郷児童館の利用児童からの手紙と返信用のハガキを同封し、世代を超えた地域住民のつながりづくりを推進します。
重点テーマへの効果	福祉員として、実際に一人暮らしの方を訪問し接することで、地域における支え合い活動の重要性を認識し、活動できるきっかけづくりが期待できます。



第 30 回みさとふれあいマーケット



安心訪問でお渡しする食品類と手紙等

## 【堀金支所】

### 重点事業1. 第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画促進事業

目 標	社会福祉協議会へ寄せる住民意識の醸成と共に地域福祉への理解を広げます。 【指標】 地域福祉活動計画から見る住民意識度 【目標数値】 50%以上
具体的な手法	地域福祉活動計画を主体とする地区説明会を開催します。また同計画の実施報告書・特別活動事業及び地区社協会長による自主評価から地区活動の成果を検証します。
重点テーマへの効果	地域福祉活動計画が地区活動にどのような効果をもたらすのか把握ができ、その先に堀金地域の特性が交錯した「地域共生社会」への展望を持つことができます。

### 重点事業2. 堀金支所～情報発信(広報広聴)事業

目 標	各種事業に対して広報手段の精度を上げると共に市民の声を集めます。 【指標】 堀金支所が実施する各種事業の参加者満足度(周知度) 【目標数値】 70%以上
具体的な手法	ふれあい祭りやおむすび会等の自主事業、配食サービスやボランティア活動など、各種事業の参加者・利用者からアンケート調査を行い事業の改善に繋がります。
重点テーマへの効果	広報広聴活動にマネジメント・サイクルを導入(市民意見の反映)することにより、新たな発想力の創出と共に、地域住民の参加意識が醸成されます。

### 重点事業3. 堀金憩いの里“うらら” 利用環境向上事業

目 標	地域福祉の拠点施設として利用環境の向上に努めます。 【指標】 利用者満足度 【目標数値】 70%以上
具体的な手法	施設内外の環境整備に努めます。また、老人福祉センターのソフト事業を発信すると共に、福祉団体や利用者からの声を居心地の良い環境に繋がります。
重点テーマへの効果	地域福祉の身近な窓口として、地域共生社会構築に必要な施設として少子高齢社会を下支えすると共に、地域福祉計画・地域福祉活動計画の発信基地と成り得ます。

## 🎵 歌いながら体を動かそう 音楽・体操教室



皆さんと一緒に  
楽しく体を動かしましょう！

「爽やか あづみ野健康麻雀クラブ」



一緒に健康麻雀を楽しむ方を  
募集しています。

活動したい！ 活動を続けたい！ という市民の声に応えます。《新たなグループ活動を支援します》

## 【明科支所】

### 重点事業1. 地区社協活動の推進

目 標	小地域における住民同士の支え合い活動を推進します 【指標】 地区説明会の開催 【目標数値】 10 地区
具体的な手法	地区社協会長会で年間を通した説明会の開催を呼びかけ、地区の会議に出向いて福祉員の説明会を行います。支え合いのしくみづくりの重要性を伝えていくことで、住民主体の意識の向上に繋げていきます。
重点テーマへの効果	住民自身が「支え合いのしくみづくり」について理解を深めることで、顔の見える関係作りに繋がり、延いては地域住民が自分のできる範囲で地域に参加していくきっかけとなります。

### 重点事業2. ボランティアの推進

目 標	高齢化が進行する情勢下、課題解決に重要な役割を担うボランティアの推進を図ります。 【指標】 講座・交流会 【目標数値】 4 回／年
具体的な手法	支え合いの意識の醸成やボランティアの情報共有の機会創出のため、講座や交流会を開催します。
重点テーマへの効果	一人ひとりの支え合いの意識を高めていくことで、自分のできることで活動するきっかけとなり、地域福祉の推進につながります。

### 重点事業3. 明科福祉まつり

目 標	地域での支え合い活動を推進するため、地域の特色を生かした福祉まつりを開催し、地域住民が一体となった協働のまちづくりを目指します。 【指標】 来場者数／参加団体数 【目標数値】 400 名／18 団体
具体的な手法	地域住民と地域で活動する人や団体が係り合える、地域に根差した福祉まつりにすることで、地域福祉への参加の機会とします。
重点テーマへの効果	身近な地域の人や活動に触れ、地域を知ることによって参加・活動の機会を創出し、相互に補完、協力し合いながら地域づくりを進めることが可能になります。



災害時住民ささえあいマップ研修



明科福祉まつり

## 8、各児童館の年間目標及び主要事業

### 豊科中央児童館：いつもと変わらない落ち着いた居場所、地域とつながる児童館

#### 主要事業内容

建替えに伴い仮設の建物での運営となり不便な環境となる中でも、長い歴史を持つ豊科中央児童館をこれまでと変わらない地域の居場所として、安心・安全な環境を整え利用していただけるようにします。また、仮設の建物の関係で開館できない日が想定されるので、そのような日に地域の公民館等に出向き「移動児童館」が実施できるよう、地域の皆さんに積極的に呼びかけ、理解を得て実施します。児童館に直接来ることができない親子や子どもたちへの遊びの場・交流の場、また地域の異世代の交流を目的に実施します。

【指標】 ①移動児童館実施回数 ② 地区への説明・呼びかけ

【目標数値】 ①6回 ②23地区

### 高家児童館：誰もが集える居場所作り

#### 主要事業内容

青少年育成事業「チャレンジタイム」に、乳幼児親子の参加や中高生のボランティア参加の機会を作り、一緒に事業に参加し活動してもらう事を通して異年齢交流を図り、児童館が乳幼児親子だけでなく、0～18歳までが安心して利用できる地域の居場所であることを周知していきます。また、地域のボランティアの方にも事業のお手伝いだけでなく、特技等を事業の中で子ども達に教えていただく機会を設けることで、地域での活躍の場と交流の場の創出を推進します。

【指標】 チャレンジタイムへの中高生のボランティア参加

【目標数値】 中学・高校に年9回ポスターの掲示依頼

### 南穂高児童館：互いに支え合う地域づくりの拠点の1つとなれるよう、みんなが笑顔になれる「にこにこランド」を目指す

#### 主要事業内容

日々の支援や行事を通して児童館を知ってもらい楽しんでもらうことにより、一組でも多くの乳幼児親子にとって、児童館が気軽に来て安心して過ごせる「居場所」になることを目指します。特に、平日の子育て支援事業「にこにこタイム」と、その拡大版「にこにこタイムスペシャル」は、当館の愛称を冠した特徴的な事業として継続します。また、ふれあい農園事業では、シニア世代の方たちから野菜作りのご指導をいただくことにより、世代間交流の機会を創出します。またシニア世代の方々にとってはやりがいを持って地域で活躍できる機会に、乳幼児親子には土に触れる感触や作物を育てる喜びを味わっていただく機会にさせていただきます。

【指標】 乳幼児親子来館者数

【目標数値】 1日平均8組



【高家児童館 たきバタウン感謝祭】  
地域の方々の協力により開催



## 穂高中央児童館:子どもも大人も笑顔になれる場所づくり

### 主要事業内容

少しでも絵本に興味を持ってもらえるよう、人気の「手形足形アート」は引き続き「絵本」をテーマに実施します。最近では読み聞かせを苦痛に感じる小学生が見受けられる中、乳幼児をはじめ小学生が本を楽しむためには、まずはどんな絵本があるのか知ってもらう機会を作ることから始めます。小学生は「チャレンジタイム」で絵本や物語に出てくる憧れのお菓子作りを通して絵本の世界に触れ、乳幼児親子は手形足形アートを楽しむだけでなく、テーマとなっている絵本に触れていただきます。ボランティアの方にも協力してもらいながら、「穂高中央は絵本」と思ってもらえることを目指します。

【指標】 絵本関連の行事の参加者 【目標数値】 参加者平均 8 組

## 穂高西部児童館:互いに支え合い、誰もが安心して利用できる地域交流の場を目指す

### 主要事業内容

子育て支援事業「にじいろキッズパーク」の「いろ組」は、感染リスクが高いため現状では集団活動が難しい子どもとご家族が対象のクラスです。毎月 1 回月曜日の午前に ZOOM を利用したオンラインでの親子活動、おしゃべり会、ワークショップなどを行い、家族同士がつながり互いに支え合う交流の場となることを願い実施しています。現在の登録者は 4 組。まだまだ周知が行き届いていないのが現状ですが、6 年度は昨年度までの周知方法に加え、募集チラシのリニューアル、新規関係機関へのチラシ配布などを行い登録者数増加を目指します。また地域ボランティアさんにも参加していただき、地域の方とのつながり作りにも努めていきます。

【指標】 にじいろキッズパーク(いろ組)登録者数 【目標数値】 登録者数 7 組

## 穂高北部児童館:「行事数の多さと質」・「きれいで快適な環境」で利用者増を引き続き図っていく

### 主要事業内容

R5 年度からの新規事業「地域の知恵袋」は、互いに支え合う地域づくりに向け、地域住民の福祉への意識を高める活動の場づくりを目的としています。地域の様々な個人や団体へ講師を依頼し、得意なことを活かしていただく「活動の機会」としていただき、それが児童館で参加者と繋がることで、館の行事以外の場所でも人が集まるような「しくみづくり」に繋がることも期待し、実施してきました。R6 年度は R5 年度に繋がった講師の継続を基本としながら、新たな地域資源との繋がりを視野に入れていきます。5 年度は実施計画 6 回に対して新たな講師の開拓を通じて 7 回実施しましたが、6 年度は他の行事との回数のバランスも考慮しながら、新たな講師を開拓していきます。

【指標】 新たな講師 【目標数値】 1 個人または 1 団体



西部児童館にじいろキッズパーク  
重い障がいのある子とご家族の交流の場

### 三郷児童館:親子で笑顔になれる場所 ～三郷児童館～

#### 主要事業内容

子育て支援事業「りんごちゃんタイム」を、親子のふれあいと、親も子も充実した笑顔になれる行事になることに重点を置き、さらなる充実を目指します。季節の視点を取り入れた工作活動や、家庭ではもう一步踏み込まないとできない、児童館だからこそ体験できるような内容を計画、実施します。また、当日の自由来館者の方でも気軽に参加してもらえるよう、基本的に事前申込みや定員は設けずに実施します。

【指標】りんごちゃんタイムの実施回数 【目標数値】6回以上/年

### 堀金児童館:いつでも・子どもまなか児童館

#### 主要事業内容

地域ふれあい事業「移動児童館」:地域の公民館等を会場に、育成会やこども園地区会と地区行事を共催し、地域のつながりを深める一助となると共に、地域で子どもを育む雰囲気づくりに努めます。

地域ふれあい事業「児童館祭り」:関係機関・農園・保護者等、地域内のより多くの方々にご協力いただいて開催することで、地域活性化に貢献します。

「自由来館」でのご利用を重視し、どの世代の方にとっても居心地良い場所づくりを進める中、時代の変化とニーズに添った運営を心がけます。

【指標】「移動児童館」依頼の全地区にて実施 【目標数値】5件以上

### 明科児童館:楽しさいっぱい、地域の中の『遊び・学び・体験』を兼ねそえた場を目指します

#### 主要事業内容

地域ふれあい事業では、地域の方々に講師やボランティア協力を積極的に依頼し、事業に協力してくださる方々の生きがいとなる場をつくることを目指します。また、明科地域の伝統を継承しながら、地域の方々と参加者がつながる活動となることを目指します。

子育て支援事業では、「同世代のお子さんと交流する機会が欲しい」と、他地域(四賀、松川など)から来館する方もいます。今後、どんな事業を希望するか聞き取るなどして、さらに他地域の方が参加し易くかつ楽しんでもらえるような事業の展開を目指します。

【指標】事業に協力してくださる団体の数 【目標数値】3団体10名以上



【明科児童館 クライミング教室】

施設の特徴を活かした事業

# III 介護事業課

## 1. 経営環境

### ■訪問介護事業者の倒産 過去最多を更新

訪問介護事業者の倒産件数は2023年12月半ばまでの時点で60件と、過去最多を更新しました。物価高に加え、コロナ禍が落ち着いたことで介護業界やほかの業界との賃金格差が広がり、人手不足がさらに深刻になったことなどが、倒産が増加した背景としてあげられます。若いヘルパーの採用が難しく、ヘルパーの高齢化が進んでおり、今後も需要が高まる中でサービスをどう維持していくのが全国的な課題となっています。倒産には至らなくても、事業者が訪問介護サービスだけを廃止や休止するケースも考えられるため、事態はもっと深刻になっているおそれがあります。

### ■ヘルパーの有効求人倍率、過去最高 15.53 倍

ホームヘルパーの人材難が更に加速し、昨年度の有効求人倍率が過去最高の 15.53 倍にのぼっています。

### ■介護職員の高齢者虐待、過去最多

厚労省の担当者は介護現場で虐待が増えている要因について、「様々なことが考えられるが、虐待防止の理念が浸透して問題の顕在化が進んだことが大きい。職場でのハラスメントなど職員のストレスも課題の1つ」と説明しています。「2021年度の介護報酬改定で、全サービスに虐待防止措置の実施を義務付けた影響もあるのではないか。今後も防止策を強化していく」と述べています。

## 2. 2024 重点テーマ

### 介護事業課

(1) 介護保険事業の安定経営を図るため、介護人材の確保と資質の向上、生産性の向上、働きやすい職場環境の醸成に努める。

(2) ヤングケアラー、身体拘束、虐待や身寄りのない認知症高齢者等についての理解を深めて早期発見に努めることで、在宅介護を支援する。

**事業名****1. 居宅介護支援事業**

目的と概要	要介護者及び要支援者が、必要なサービスを適切に利用し、できる限り自立した生活が行えるよう、居宅介護支援専門員(ケアマネジャー)が本人及び家族の意向や心身の状況、環境等を勘案してケアプラン(又は予防プラン)を作成し、サービス事業者との連絡調整等を行うサービスです。この内、要支援者(予防給付の対象者)に対する介護予防支援事業は安曇野市からの受託事業です。
-------	--

**R6 年度**

目標と手段	①認知症、身体拘束、虐待について研修会を開催(在宅介護の支援) ②ヤングケアラー問題について研修を実施(在宅介護の支援)
指標と数値	① 年に1回 ② 年に1回

**事業名****2. 通所介護事業**

目的と概要	介護が必要な方を自宅まで送迎し、食事(昼)、入浴、機能訓練及びレクリエーション等の日中のサービスを提供します。事業対象者・要支援・要介護の方の重度化予防(身体面、認知面双方)と介護者の介護負担軽減に資することで、在宅生活の継続に貢献します。安曇野市の指定管理4施設と法人所有1施設にて運営しています。
-------	--

**R6 年度**

目標と手段	①顧客満足度調査の実施(介護人材の確保と資質の向上) ②介護相談会の開催(在宅介護の支援) ③災害 BCP の見直し(在宅介護の支援)
指標と数値	①1 事業所について実施 ②1 回開催 ③1 支所について実施

**事業名****3、訪問介護事業**

目的と概要	<p>介護福祉士等の専門資格を有するホームヘルパーが、介護の必要な方の自宅を訪問し、排せつ、食事等の介護(身体介護)や調理、掃除等の家事(生活援助)のサービスを提供します。家族介護をカバーし、利用者本人の自立をできる限り支援することで、利用者及び家族の家庭生活を支えるとともに、介護に限らない利用者周辺の生活課題を「つかみ」、課題解決へ「つなぐ」ことにより、利用者及び家族の地域生活を支援していくことが目的です。平成 29 年度から「介護予防・日常生活支援総合事業」の訪問型サービスAの事業も行っています。</p>
-------	---

**R6 年度**

目標と手段	<p>①総合職員定数増(介護人材の確保と資質の向上)          ②事務員の職務範囲拡大、処遇改善(生産性向上)          ③カスタマーハラスメント対策の実施(働きやすい職場環境の醸成)</p>
指標と数値	<p>①1 事業所の総合職員数を2人から3人に増加          ②1 名をパートからフルタイム勤務に変更。賃金をベースアップ          ③社内の実態を調査のうえ、研修を実施</p>

**事業名****4、訪問看護事業**

目的と概要	<p>看護師、理学療法士又は作業療法士が、主治医の指示書に基づいて利用者の自宅を訪問し、利用者の心身の健康管理、医療機器の管理、排せつや栄養の管理、スキンケア、リハビリテーション、ターミナルケア等の医療サービスを提供します。医療的なケアが必要な要介護者が、どんな病気や障がいであっても住み慣れた家と地域で、安心して、できる限り自立した生活を営めるよう、医療の面から支援していくことが目的です。</p>
-------	--

**R6 年度**

目標と手段	<p>①総合職員を増員(介護人材の確保と資質の向上)          ②事務員の職務範囲拡大、処遇改善(生産性向上)          ③カスタマーハラスメント対策の実施(働きやすい職場環境の醸成)</p>
指標と数値	<p>①総合職員数を1人から2人に増加          ②1 名をパートからフルタイム勤務に変更(訪問介護と兼務)。          賃金をベースアップ          ③社内の実態を調査のうえ、研修を実施</p>

# IV 障がい福祉課

## 1. 経営環境

近隣に放課後等デイサービス等競合事業所が新設され、影響を受けています。

令和 7 年 10 月から就労選択支援事業が新設されます。一般就労を進めるためにも当会での実施を検討します。

## 2. 2024 重点テーマ

障がい福祉課

(1) 利用者の柔軟な事業所間の移動、併用を進める

(2) 職員とチームの支援力の向上



穂高わたぼうし 販売会

**事業名****1、相談支援事業**

目的と概要	障がい者(児)が必要なサービスを適切に利用することにより、安心して地域生活を送ることができるように、本人及び家族の意向や心身の状況等を踏まえ、障害福祉サービスの利用計画を作成し、定期的に見直しを行います。
-------	--

**相談支援センターぶれす**

目標と手段	障がい福祉サービスの窓口としてきめ細かな情報提供を行い、適切な事業所利用に繋がります。
指標と数値	プラン作成件数+モニタリング実施数 35 件/月

**事業名****2、障害者就労継続支援B型事業**

目的と概要	一般就労が困難な障がい者に働く場を提供するとともに、社会生活に必要な能力向上を目的とした訓練を行います。「働く」ことだけでなく、各々の「暮らし」を豊かにするための知識やスキルを習得することも目指しています。また、一般就労のための企業見学や職場体験を行います。
-------	---

**豊科たんぼぼ**

目標と手段	統一したより良い支援を行うため、個別支援計画を全職員で共有します
指標と数値	個別支援計画の確認を、会議時だけでなく、朝礼時にも行います(週 3 回)

**堀金かえでの家**

目標と手段	キッチンカー販売で1か所ごとの売上げを伸ばすため、新規小売商品を加え自主製品と併せて販売し、工賃アップに繋がります。
指標と数値	新規小売商品 3 種類、平均工賃月額:30,000 円

**ま・めぞん**

目標と手段	菓子製造を軌道に乗せます。
指標と数値	稼働週2日。商品開発3種類。

**豊科じゃんぷ**

目標と手段	事業所の方向性を検討します。
指標と数値	方向性の検討委員会5回開催。

**事業名****3、地域活動支援センター事業**

目的と概要	障がい者が「身近で安心して過ごせる場」で、障がいの程度に合わせて必要な医療的ケア又は日常生活のケアを受けながら、作業活動、余暇活動及び地域との交流等を行う事業です。利用者の「できること」を活かし、「やりたいこと」を尊重して、仲間と楽しく豊かな時間をつくるとともに、生活技能や社会性の習得、さらには社会参加の機会を提供することが目的です。また、手工芸品等の自主製品の販売収入は工賃として利用者に支給されます。
-------	---

**穂高わたぼうし**

目標と手段	利用者さんの状態(体調・体力)などに併せて適切な利用日数や時間を提供できるように工夫していきます
指標と数値	家族との面談(1～2回/年)

**三郷すみれの郷**

目標と手段	個々の特性に応じた仕事内容を検討し見直していきます。
指標と数値	利用者・家族との面談(1～2回/年)、職員間での支援共有(適宜)

**明科ふきぼこの家**

目標と手段	利用者一人ひとりの「できること」「やりたいこと」を大切に、作業活動・余暇活動を行う中で仲間と豊かな時間を過ごしていただけるよう支援します。
指標と数値	利用者・家族との面談(1～2回/年)、職員間の支援の共有・関係者間の連携/随時



目的と概要	<p>介護が必要な障がい者(児)を対象としたデイサービスで、「障害者生活介護」は18歳以上、「放課後等デイサービス」は就学中の障がい児が対象です。「ほっぷライフ」では看護師配置を手厚くし、かつ介護スタッフの専門性を高めることにより、医療的ケアが必要な重度の障がい者(児)を積極的に受け入れています。また、安全を確保した上で「ほっぷライフならではの」楽しい活動や外出等のメニューを揃えています。「穂高わたぼうし放課後等デイサービス」では、様々な療育プログラムを提供し、楽しく体験しながら社会生活に役立てていけるよう支援しています。</p>
-------	--

ほっぷライフ	
目標と手段	利用者の日中の過ごし方のニーズを把握し、新規利用者の獲得をします。また在籍している利用者様の利用日を増やします
指標と数値	生活介護・放課後デイ新規利用者2名以上、利用日増の利用者3名以上

穂高わたぼうし	
目標と手段	専門的な支援を行うためのスキルアップを図ります。
指標と数値	外部研修会参加1回/1人、強度行動障害研修参加

# V 総務課

## 1. 経営環境

少子高齢化・核家族化の進展に加えて、新型コロナウイルスの感染拡大により、地域の伝統行事や各所イベントが中止となり、近所の付き合いが一層希薄になるとともに、団塊の世代が後期高齢者を迎え地域福祉の担い手の不足が課題となっています。

また、令和6年能登半島地震により多くの命が奪われ、家屋の倒壊など大変な被害に見舞われました。

このような時代の中で、福祉ニーズは益々複雑化・多様化するなかで、当会が担う役割は更に大きくなっています。

## 2. 2024 重点テーマ

総務課
(1)持続可能な福祉の拠点づくり
(2)情報発信力の強化
(3)危機管理体制の強化

目的と概要	<p>当会が地域住民から求められる役割を十分に果たし、地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めるため、継続的かつ安定した経営を図っていく必要があります。</p> <p>組織の最大の財産は、職員「社協人(しゃきょうマン)」であり、職員が明るく健康で働き続けられる職場づくりに取り組んでいきます。</p> <p><b>【福祉の担い手確保】</b></p> <p>多様な働き方ができる職場として、人材の確保を進めるとともに、障がい者雇用を推進していきます。</p> <p><b>【やりがいの持てる職場】</b></p> <p>職員の意欲・実績・能力を評価し、人事・給料等に反映させ、職員の有給休暇等の権利が実行できる職場環境を目指します。</p> <p>また、職員資質の向上等の観点から、研修会等への参加、資格取得等の支援等を進めます。</p> <p><b>【働きやすい職場づくり】</b></p> <p>労働安全衛生等に関する研修(ハラスメント・メンタルヘルス・交通安全等)を行うとともに、職員からの相談等に対応できる体制を構築します。</p>
-------	--

## R6 年度

目標と手段	<p>障がい者雇用については、雇用率の達成を第一主眼に置くものではなく、障がい者を受け入れられる職場づくりが最も重要と考えます。</p> <p>職員が障がいを持つ方々とどのように接し、一緒に働くのか理解を深めるための研修等を行うとともに、関係機関と連携しながら取り組んでいきます。</p>
指標と数値	新規障害者雇用1名

## 事業名

## 2、情報発信の強化

目的と概要	<p>社会福祉協議会の存在は知っていても、実際に何を行っているのか、どのような相談ができるのか、分からない皆さんが多い状況です。</p> <p>当会に対する住民の関心を高め、地域福祉活動への積極的な参画を促すため、情報発信を積極的に行います。何を情報発信していくのか、誰に情報を伝えるのか、そのための発信手段などを再検討し、効果的な情報発信について研究協議を行います。</p>
-------	--

### R6 年度

目標と手段	情報を伝える手段として、これまでのホームページ・広報あづみんに加え SNS の活用を図っていきます。また、多くの情報を収集・整理し、発信していくために組織横断的に検討を進めます。
指標と数値	ホームページ・SNS 利用者数

## 事業名

## 3、危機管理体制の強化

目的と概要	<p>令和6年能登半島地震は、多くの犠牲者と家屋等に多大な被害を与えました。当会でも義援金やボランティア活動等の支援を行っています。</p> <p>地震・豪雨などの自然災害や新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症に対応するため事業継続計画(BCP)を策定していますが、策定から期間が経過しておりますので、様々な災害等に対応できるよう見直しを行います。</p> <p>また、災害時の職員の安否確認、参集状況や被害情報等収集のためオクレンジャーを取り入れ本番に有効活用できるよう訓練を行っていきます。</p>
-------	---

### R6 年度

目標と手段	災害等発生時に職員が行動できるように、事業継続計画の内容を周知するとともに、情報伝達の方法等の訓練を行う。
指標と数値	職員間通報システムの訓練 月1回

